

教育課程の構造図



教員組織 (専任教員)

広域実践看護学特別研究の主研究指導教員とその研究テーマ

システム系	ケア系
<p>春山 早苗 教授</p> <p>ヘルスケアシステムや健康危機管理体制など地域を基盤としたヘルスケアシステムの構築・機能化に関わる看護実践、特に行政分野に所属する看護職の看護実践やへき地と都市部など地域特性に応じた看護実践を探究する。</p>	<p>小原 泉 教授</p> <p>がん診断期から終末期ケアに至るまで特にがん患者の抗がん剤治療における臨床試験に関する意思決定モデルを中心に、がん患者とその家族に対する看護実践の開発を探究する。</p>
<p>成田 伸 教授</p> <p>ヘルスケアシステムを見据えながら、リプロダクティブヘルス / ライツの概念を反映させ、さらにジェンダーの視点を取り入れ、母性看護学・助産学の特性と役割に関する看護実践の開発を探究する。</p>	<p>永井 優子 教授</p> <p>精神的な問題をもつ人および精神障害者とその家族のセルフケアを促進し、地域生活を継続するとともに、より質の高い生活となるような看護実践を探究する。</p>
<p>村上 礼子 教授</p> <p>慢性疾患の急性増悪も含めた重篤な状態や急性期などの看護実践から、在宅、回復期にある患者・家族への看護実践に必要な看護師の特定行為を含む診療看護技術提供システムの開発ならびに、診療看護技術教育の開発を探究する。</p>	<p>半澤 節子 教授</p> <p>国内外の科学的知見を踏まえながら我が国の精神保健に関連するテーマを探究し、精神障害の予防、治療、リハビリテーションに役立つ基礎的研究を行う。スティグマ、精神障がい者家族介護、社会復帰など社会文化的環境要因について探究する。</p>
	<p>横山 由美 教授</p> <p>我が国のヘルスケアシステムや対象の居住する地域資源の状況も視野に入れ、健康を障害された子どもとその家族に対する看護実践の開発を探究する。</p>

受験希望者は、希望する研究指導教員の事前面接を受ける必要があります。

専任教員

副研究指導教員	研究指導補助教員	専門関連科目
上野 まり 教授	角川 志穂 准教授	鹿野 浩子 講師
川野 亜津子 教授	長谷川 直人 准教授	
塚本 友栄 教授	関山 友子 講師	
大塚 公一郎 教授		
里光 やよい 教授		
浜端 賢次 教授		